



平成 28 年 9 月 14 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号  
株 式 会 社 山 王  
代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 治  
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 管理本部副本部 浜 口 和 雄  
長兼経理部長  
電 話 番 号 0 4 5 ( 5 4 2 ) 8 2 4 1

平成 28 年 7 月期連結業績予想数値と実績値との差異、個別前期実績値と当期実績値との差異及び営業外費用発生に関するお知らせ

平成 28 年 3 月 14 日に公表した、平成 28 年 7 月期（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）における通期の連結業績予想数値と本日公表の連結実績数値との差異、個別前期実績値と当期実績値との差異及び営業外費用の発生につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想との差異について

平成 28 年 7 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	△ 450	△ 500	△ 550	△ 119.15
当期実績値(B)	6,406	△ 394	△ 476	△ 555	△ 120.35
増減額(B-A)	△94	56	24	△ 5	
増減率(%)	△1.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 7 月期)	7,524	△455	△415	△1,452	△314.62

差異の理由

当連結会計年度は、スマートフォン向け製品を中心とした生産調整が、想定よりも大きく影響したことから、売上高は前回予想値を下回りました。

一方損益面では、歩留りの改善、生産性向上、経費削減等の収益改善に取り組むことで、為替差損の影響は受けましたが、概ね業績予想通りとなりました。

## 2. 通期個別業績実績値と前期実績値との差異について

平成 28 年 7 月期通期個別業績実績数値と前期実績値との差異（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値(A)	4,325	△ 352	△ 227	△ 1,319	△285.75
当期実績値(B)	3,990	△ 391	△ 374	△ 410	△89.02
増減額(B-A)	△ 335	△ 39	△ 147	909	
増減率(%)	△7.7	—	—	—	

### 差異の理由

当事業年度は、新興国経済減速の影響で、スマートフォン向け製品を中心に一時的な生産調整が行われたことから、製品受注が減少し、売上高は前期実績から減少しました。

損益面では、生産調整に伴い売上高が減少した影響や為替差損の発生により、営業利益、経常利益は前期実績を下回りました。

一方、当期純利益につきまして、前期においては関係会社出資金評価損 1,070 百万円の特別損失を計上したことから、当期実績と比較して差異が発生しました。

## 3. 営業外費用の発生について

（為替差損について）

当連結会計期間において、保有している外貨建債権を期末日のレートで換算したこと等により、為替差損 79 百万円を営業外費用に計上いたしました。

上記の営業外費用が業績に与える影響については、本日公表の「平成 28 年 7 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上